

開催要項

国際シンポジウム「Advancing Soybean Breeding: Genetics, Genomics, Biotechnology and Agronomy」の開催

1. 趣旨 世界の大豆の消費量は年々増加しており、食用油や飼料としての利用に加え、バイオディーゼル燃料や植物性タンパク質など新たな用途も拡大しています。一方、日本の大豆は豆腐、納豆、味噌などさまざまな食品に加工され、和食に欠かせない食材ですが、日本の食品用大豆の約75%は輸入に依存しています。そのため、今後は他国との競合による価格高騰や円安による為替リスクの影響が懸念されています。

内閣府戦略的イノベーション創造プログラム第3期(SIP3)「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」における研究課題「植物性タンパク質(大豆)の育種基盤構築と栽培技術確立」では、こうした食料安全保障上のリスクを軽減するため、国産大豆の増産と安定供給を可能にする品種開発と栽培技術開発を進めています。

本国際シンポジウムでは、SIP3の研究担当者に加え、育種・ゲノム編集・栽培技術等の分野に携わる海外の研究者を招聘し、最新の研究成果・動向の紹介および大豆の増産・安定供給に向けて必要となる各種技術について議論することを目的として開催するものです。

2. 開催日時 2026年2月25日（水）10時00分～20時30分

3. 開催場所 東京国際フォーラム ホールD7、D5

（〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号）

4. 使用言語 英語

5. プログラム

10:00-10:05 【開会の挨拶】

南部 智一（内閣府政策参与・プログラム統括）

セッション1 【Frontiers in Soybean Breeding】

10:05-10:45 【Short-Season Soybean Breeding in Canada】

Dr. Elroy R. Cober (Agriculture and Agri-Food Canada、カナダ)

10:45-11:25 【Recent Efforts in Breeding High-Yield Soybean Varieties Suitable for Food Processing in Japan】

Dr. Shin Kato (農研機構・作物研究部門)

11:25-12:05 【Corteva Agriscience's Strategies and Technologies for Developing High-yielding Stable Soybean Varieties】

Dr. Les C. Kuhlman (Corteva Agriscience、米国)

12:05-13:15 休憩

13:15-13:55 【Exploring the Genomic Features of Japanese Soybeans】

Dr. Ryoichi Yano (農研機構・高度分析研究センター)

13:55-14:35 【Towards Efficient Soybean Breeding: Translating Novel Tools into Genetic Improvement】

Dr. Rafael M. Yassue (GDM Seeds, Inc.、アルゼンチン)

14:35-14:55 休憩

| | |
|-------------------|--|
| セッション 2 | 【Soybean Biotechnology: Genome Editing and Regulation】 |
| 14:55–15:35 | 【Regulatory Consideration for the Commercial Cultivation of Agricultural Crops with Biotechnology】 Dr. Suguru Sato (U.S. Department of Agriculture、米国) |
| 15:35–16:15 | 【A Culture-Independent and DNA-Free Approach to Engineering the Soybean Genome】 Dr. Ryozo Imai (農研機構・生物機能利用研究部門) |
| 16:15–16:35 | 休憩 |
| セッション 3 | 【Soybean Physiology and Yield Dynamics】 |
| 16:35–17:15 | 【Yield and Dry Matter Productivity of Japanese and U.S. Soybean Cultivars: A Cross-locational Analysis】 Dr. Yohei Kawasaki (農研機構・作物研究部門) |
| 17:15–17:55 | 【Soybean Photosynthesis, Growth, and Yield Responses to Global Change】 Dr. Carl J. Bernacchi (イリノイ大学、米国) |
| 17:55–18:00 | 【閉会の挨拶】 松本 英三 (SIP3「豊かな食」プログラムディレクター) |
| 18:00–18:30 | 休憩 |
| 18:30–20:30 | ポスター発表 |
| 6. 主催者 | 農研機構・作物研究部門 |
| 7. 共催者 | SIP3「豊かな食」事務局 |
| 8. 参加費 | 無料 |
| 9. 定員 | 先着 200 名 (締切前でも、定員になり次第申し込みを締め切ります) (ポスター発表は 50 演題程度。申込多数の場合は、シンポジウムの趣旨を勘案し、事務局で演題を選定させていただきます。) |
| 10. 申し込み方法 | 参加および講演要旨の登録は、以下の URL からお願いいたします。 日本語： https://soybean-symposium.jp/ 英語： https://soybean-symposium.jp/en/ |
| 11. 申し込み締切 | 参加申し込み 2026 年 2 月 16 日 (月曜日) 12 時 00 分 ポスター発表 2026 年 2 月 2 日 (月曜日) 12 時 00 分 |
| 12. 事務局 | シンポジウム事務局 (株式会社アカンパニーテクノロジーズ内) soybean-symposium-info(at)e-webinar.net *(at)は "@" に変更してください |